

教科 科目	国語 国語	学年	2年	単 位	5単位	担当	岩崎 勇太・川西 和司
【科目の概要】							
<p>国語としての日本語を正しく身に付け、理解し、その運用能力を高めることを目標としています。</p> <p>具体的には、話すこと・聞くこと、書くこと、読むことに関心を持ち、意欲的に取り組み、自分自身で考え、論述・発言できる力を身につけられるように学習します。</p>							
【育成をめざす学力】							
<p>①自学（予習・復習など）できる力</p> <p>②漢字・慣用句・古語・文法事項・古典常識・漢文句法などに関する基礎的な力</p> <p>③多様なテキスト（説明文・物語文・解説文・韻文・思想・史伝など）を読解する力</p> <p>④テキストに書かれていることを自分の知識や考え、経験と結びつけて表現する力</p> <p>⑤出題形式に応じて解答できる力</p>							
【評価基準・評価項目】							
<ul style="list-style-type: none"> ・授業やテストに向けて予習・復習ができる。 ・漢字・語句・文法を習得し、自分の考えを表現できる。 ・筆者の主張や登場人物の心情を読み取ることができる。 ・感想文や意見文を書き、自分の考えを表現することができる。 ・出題形式に応じて解答できる。 							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4月	小説「小さな手袋」 問題演習						
5月	説明文「人間は他の星に住むことができるのか」 問題演習						
6月	短歌「短歌の世界」 読書「見えないチカラとキセキ」 問題演習						
7月	評論「壁に残された伝言」 文法「用言の活用」 問題演習						
8月	記述「構成を工夫して考えを伝える」 問題演習						
9月	古文「枕草子・徒然草」 問題演習						
10月	漢文「漢詩の世界」 小説「走れメロス」 問題演習						
11月	古文「平家物語」 問題演習						
12月	詩「大阿蘇」 文法「助詞・助動詞」 問題演習 書写						
1月	説明文「動物園でできること」 問題演習						
2月	小説「ポテト・スープが大好きな猫」 問題演習						
3月	「口語文法のまとめ」 問題演習 書写						

教科 科目	社会2(地理的分野)	学 年	2年	単 位	2単位	担 当	古賀 彩香
【科目の概要】 社会を学ぶ意味は、私たち一人ひとりが今生きている「社会」を客観的に見る視点を鍛えることにあります。社会の中で、地理は空間や地域に着目して、人間と自然のかかわりについて主に考える教科です。地理では、自然環境の特色、各地域の文化や地域同士のつながり、各地域の工業の発展など、様々な観点から社会・世界について学ぶこととなります。人間は、自然環境の影響を大きく受けながら、文化を築いてきました。時に自然を恐れながら、時に自然を開発によって支配しようとしながら。自然を開発した意味や世界の抱えている課題についてもみなさんと一緒に考えてみたいと思っています。中学二年生の地理で主に学ぶ日本の各地域の学習を通して、今、日本は、世界は、どうなっているのかを考える力を身につけます。							
【育成をめざす学力】 <ul style="list-style-type: none"> ・世界と日本の地域性と地域構造を理解するための基本用語を習得する力 ・基本用語間の関係を把握しながら、学習内容を整理する力 ・基本用語を具体的に使いながら、学習内容を説明する力 ・資料(地図、表、グラフなど)を読み取る力 ・学習内容を地域理解や社会認識につなげる力 ・学習内容から得た地域観や社会観を評価する力 							
【評価基準・評価項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・学習した基本用語を正確に暗記し、表記できる(社A①) ・基本用語間の関係を図式化し、単元の学習内容について整理できる(社A②) ・基本用語を使って、単元の学習内容について説明できる(社A③) ・単元の学習内容を通じて、各地域の「地域理解」「社会認識」の特殊性・普遍性を判断できる(社B①②) ・各地域の「地域理解」「社会認識」について自分の価値観に照らして評価できる(社B③) ・社会問題から解決課題を発見し、学習内容を活用しながら解決策を提示できる(社C①～⑤) ・学習過程において地図、写真、グラフ、文章等の資料を読み取ることができる(社A④) ・学習過程において必要な情報を収集し、地図、写真、グラフ、文章等の資料として提示できる(社B④、C①～⑤) ・学習成果を通じて、学習内容に関する習得、理解、活用状況を検証し、改善できる(社A⑤、B⑤、C⑥) ・学習過程を通じて、地理学習の意義を理解し、興味・関心を喚起できる(社C⑦) 							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4月	世界の諸地域						
5月	アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州						
6月	日本の様々な地域						
7月	日本のすがた						
8月							
9月	日本のさまざまな地域 世界から見た日本のすがた						
10月	世界から見た日本の資源・エネルギーと産業						
11月	世界と日本の結びつき						
12月	日本の諸地域 九州・中国・四国・近畿地方						
1月							
2月	中部・関東・北海道地方						
3月	日本をながめて						

教科 科目	社会2(歴史的分野)	学 年	2年	単 位	2.5単位	担 当	瀧澤 優子
【科目の概要】 歴史学習は、「現在」がすべて歴史の積み重ねであること、また激しく動く「現在」はどのような原因や過程があったのかを探っていくということです。2年生の歴史的分野では、近世から近代、現代の歴史を取り扱い、日本の歴史の大きな流れや背景、また世界とのつながりを、各時代の特色を踏まえて理解していきます。私たちは国際社会の一員として存在しているのです。その意義を確かめるために、人類が創造してきた歩みを、日本の歴史と世界の歴史を関連づけながら、共に学んでいきます。							
【育成を目指す学力】 <ul style="list-style-type: none"> ・近世史後半からの歴史を理解するための基本用語を理解する力 ・基本用語間の関係を把握しながら、学習内容を整理する力 ・基本用語を具体例として使いながら、学習内容を説明する力 ・資料(地図、図版、グラフ、文書等)を読み取る力 ・学習内容を人間理解や社会認識につなげる力 ・学習内容から得た人間観や社会観を評価する力 							
【評価基準・評価項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・学習した基本用語を正確に暗記し、表記できる(社A①) ・基本用語間の関係を図式化し、単元の学習内容について整理できる(社A②) ・基本用語を使って、単元の学習内容について説明できる(社A③) ・単元の学習内容を通じて、各地域・時代の「人間理解」「社会認識」の特殊性・普遍性を判断できる(社B①②) ・各地域・時代の「人間理解」「社会認識」について自分の価値観に照らして評価できる(社B③) ・社会問題から解決課題を発見し、学習内容を活用しながら解決策を提示できる(社C①～⑤) ・学習過程において図版、地図、グラフ、文章等の資料を読み取ることができる(社A④) ・学習過程において必要な情報を収集し、図版、地図、グラフ、文章等の資料として提示できる(社B④, C①～⑤) ・学習成果を通じて、学習内容に関する習得、理解、活用状況を検証し、改善できる(社A⑤, B⑤, C⑥) ・学習過程を通じて、世界史学習の意義を理解し、興味・関心を喚起できる(社C⑦) 							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4月 5月 6月 7月	第4章 江戸幕府の成立と鎖国 産業の発達と幕府政治の動き						
8月 9月 10月 11月 12月	第5章 欧米の進出と日本の開国 明治維新 日清・日露戦争と近代産業 第6章 第一次世界大戦と日本						
1月 2月 3月	世界恐慌と日本の中国侵略						

教科 科目	数学2	学 年	2年	単 位	4.5単位	担 当	矢野美保 山本 弦
【教科・科目の概要】 1年次に学習した文字式、方程式を発展させ、いくつかの文字を含む式の四則計算ができるようにすることや式を活用する能力をつける。連立方程式では、2種類の文字を使って立式することの利点や2つの数量関係を方程式で表すことにより、問題解決が容易になることを学ぶ。1次関数の学習では具体的な事象の変化や対応の考察を通して関数についての理解を深める。図形の学習では操作的な活動によって明らかになった性質を筋道の立った考え方で演繹的に確かめる。確率では偶然の事象を観察する中で規則性を見つけ、偶然に支配されることがらの起こりやすさを数値化する。							
【育成をめざす学力】 ① 学習の基盤となる基礎的・基本的な知識・技能を習得し、活用できる力 (F、G) ② いろいろな問題の解決に向けて、根拠を明らかにし、筋道を立て、体系的に考えることのできる力 (C、D) ③ いろいろな問題の解決に向けて、言葉や数、式、図、表、グラフなどの関連を理解し、活用できる力 (A、B) ④ 学習活動を通して、自分の考えを説明、表現できる力 (E) ⑤ 数学を学ぶ意欲を高め数学的な見方や考え方のよさを実感し、それらを通して考えたり判断したりできる力 (D)							
【評価基準・評価項目】 ① 事象の中に数量関係を見出し、それを文字式に表し、活用することができる。 ② 連立2元1次方程式を理解し、数量関係を図、表、絵などに表し、それを用いて問題解決ができる。 ③ 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応から1次関数を理解し、表現・考察できる。 ④ 具体的な事象の観察や実験を通して確率について理解できる。 ⑤ 基本的な平面図形の性質を見出し、それを確かめ、論理的に考察することができる。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4,5月	第1章：式の計算						実力考査
6月	第2章：連立方程式 1節 連立方程式 ①連立方程式とその解 ②解き方(加減法、代入法) ③いろいろな連立方程式の解き方						1学期中間考査
7月	2節 連立方程式の利用 ①連立方程式の利用(代金、個数、整数、速さ、割合など)						
8月	第3章：1次関数 1節 1次関数 ①1次関数 ②値の変化 ③1次関数のグラフ ④1次関数の式の求め方 2節 1次関数と方程式 ①2元1次方程式とグラフ ②連立方程式とグラフ 3節 1次関数の利用 ①1次関数の利用(身の回りのこと、動点)						1学期期末考査
9月	演習 1次関数と図形 第4章：図形の性質と合同 1節 平行線と角 ①直線と角 ②三角形の角 ③多角形の角 2節 三角形の合同 ①合同な図形 ②三角形の合同条件						夏期テキスト 実力考査
10月	3節 証明のしくみ ①証明のしくみ(演習) 第5章：三角形と四角形						2学期中間考査
11月	1節 三角形 ①二等辺三角形の性質 ②二等辺三角形になる条件 ③直角三角形の合同条件 2節 四角形 ①平行四辺形の性質 ②平行四辺形になる条件 ③特別な四角形 ④面積が等しい三角形 発展学習 数と規則性、図形と規則性						ベネッセ模試
12月	第6章：確率						2学期期末考査
1月	1節 確率 ①事がらの起こりやすさ ②確率 ③いろいろな確率						冬期テキスト 実力考査(ベネッセ)
2月	3年数学						学年末考査 春期テキスト
3月	1章 式の計算 文字式の展開、因数分解、素数、素因数分解						

教科 科目	理科 2	学 年	2 年	単 位	4.5 単位	担 当	山内かな子・挾間田一誠
<p>【科目の概要】</p> <p>〈単元1 化学変化と原子・分子〉化学変化についての観察、実験を通して、化合、分解などにおける物質の変化やその量的な関係について、原子や分子のモデルと関連づけて微視的にとらえ、理解を深めます。</p> <p>〈単元2 生物の体のつくりとはたらき〉実験・観察を通して、細胞レベルで見た生物の共通点と相違点から、生物と細胞、植物と動物の体のつくりと働きについて学びます。</p> <p>〈単元3 電流とその利用〉電流についての観察、実験を通して、電流と電圧との関係および電流のはたらきについて理解し、日常生活に関連づけて電流と磁界についての初歩的な見方や考え方を養います。</p> <p>〈単元4 気象のしくみと 天気の変化〉身近な気象の観察、実験を行い、気象要素と天気の変化に着目しながら、大気中の水の状態変化や大気の動きと関連付けて学びます。</p>							
<p>【育成をめざす学力】</p> <p>(1) 理科の基本的な概念や原理・法則の理解</p> <p>(2) 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能、安全管理</p> <p>(3) 自ら問題を見だし、見通しをもって観察、実験する力</p> <p>(4) 実験結果を分析し、規則性や関係性を見だし、表現する力</p> <p>(5) 自然の事物・現象に興味関心をもち、自ら学び、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究する態度</p> <p>(6) 文章、図、グラフ、表などを読み取る読解力</p> <p>(7) 共同学習において、他者を尊重し、協力する態度</p>							
<p>【評価基準・評価項目】</p> <p>(1) 理科の基本的な概念や原理・法則を理解している</p> <p>(2) 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている</p> <p>(3) 自ら問題を見だし、見通しをもって観察、実験することができ、安全に実験・観察をしている</p> <p>(4) 実験結果を分析し、規則性や関係性を見だし、表現することができる</p> <p>(5) 自然の事物・現象に興味関心をもち、自ら学び、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究している</p> <p>(6) 文章、図、グラフ、表などを読み取ることができる</p> <p>(7) 共同学習において、他者を尊重し、協力している</p>							
<p>【年間指導単元・内容と学習活動】</p>							
4 月	〈単元1 化学変化と原子・分子〉		1 章 物質の成り立ち				
5 月	2 章 いろいろな化学変化		3 章 化学変化と熱の出入り				
6 月	4 章 化学変化と物質の質量						
7 月	〈単元4 気象のしくみと天気の変化〉		1 章 気象観測		2 章 気圧と風		
8 月	3 章 天気の変化						
9 月	3 章 天気の変化		4 章 日本の気象				
10 月	〈単元3 生物の体のつくりとはたらき〉		1 章 生物をつくる細胞				
11 月	2 章 植物の体のつくりとはたらき						
12 月	3 章 動物の体のつくりとはたらき						
1 月	〈単元4 電流とその利用〉		1 章 電流と回路				
2 月	2 章 電流と磁界						
3 月	3 章 電流の正体						

教科 科目	音楽 2	学 年	2 年	単 位	1 単位	担 当	為頼 康子
【科目の概要】 2年生から、音楽は週1時間の授業になります。1年生で学習した内容に加え、拍子の種類、曲の形式等を学びます。へ音譜表の読譜練習も行います。また、外国の民謡を原語で歌唱する授業も取り入れます。1年生で学んだ音楽の基礎知識をふまえ、一歩進んだ学習活動を展開します。							
【育成をめざす学力】 <ul style="list-style-type: none"> ・ト音譜表、へ音譜表を読む力。 ・外国の民謡を原語で歌唱し、その雰囲気を楽しむ姿勢。 ・曲の構成、形式、拍子を理解し、それを表現や鑑賞に生かすことができる力。 ・パート練習や意見交換を通して、自主的な音楽活動ができる力。 							
【評価基準・評価項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に授業に参加することができる。 ・音楽的な事柄を理解し、それを表現や鑑賞の場で生かすことができる。 ・歌詞の内容や曲想について理解を深め、その曲にふさわしい表現方法を考えることができる。 							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月	歌詞の内容や曲想を感じ取り、拍の流れにのって楽しもう 「夢の世界を」 拍子の種類について						
5 月	フーガのおもしろさを味わいながら鑑賞しよう 「フーガ ト短調」 言葉と旋律の関係を理解しよう 「夏の思い出」						
6 月	讃美歌コンクールに向けて						
7 月	讃美歌コンクールに向けて 期末考査						
8 月	讃美歌コンクールに向けて						
9 月	讃美歌コンクールに向けて 曲想を生かして表情豊かに歌おう 「サンタ ルチア」						
10 月	アルトリコーダーに親しもう 「喜びの歌」「かつこう」「オーラ・リー」 「アニー ローリー」 実技テスト（歌唱）						
11 月	クリスマス礼拝準備（「ハレルヤコーラス練習」）						
12 月	クリスマス礼拝準備（「ハレルヤコーラス練習」） 2学期のまとめ 期末考査						
1 月	曲の構成について学習しよう 「交響曲第5番 ハ短調」 オペラに親しもう 「アイダ」						
2 月	オペラに親しもう 「アイダ」 歌詞や旋律から雰囲気を感じ取ろう 「荒城の月」 実技テスト（歌唱） 学年末考査						
3 月	1年間のまとめ						

教科 科目	美術2	学 年	2年	単 位	1単位	担 当	竹富 栄治
【科目の概要】 日常の中の美を発見し、それを応用して作品をつくる方法を学びます。また、自分の表現したい内容に合わせて色や形を選ぶ経験を積みます。さらに日本の美術と西洋の美術の変遷と影響について学び作品の良さを味わいます。							
【育成をめざす学力】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然物・人工物に目を向けその良さを発見する力 ・ 目標を設定し実現のために計画的に行動する力 ・ 民族・地域・時代による価値の違いに興味関心を持ち理解する力 ・ 道具・技法等を目的に応じて使いこなす力 ・ 表現することに価値を置き有効な表現手段を探り、表現する力 							
【評価基準・評価項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の思いや考えを、表現・発表することができる ・ 造形的な視点に立ち周囲の自然や物の良さや美しさを発見し、独創的な表現につなげることができる ・ 美術の変遷を影響と発展の観点から理解することができる ・ 自ら構想した物を形や色を工夫して視覚化することができる ・ 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現することに取り組もうとしている ・ 作品を鑑賞し、自分なりに良さを発見することや作者の思いや工夫に触れることに主体的に取り組もうとしている 							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4月	線と面の構成 色彩による構成 完成・鑑賞						
5月							
6月							
7月							
8月	日本の美術・西洋の美術 生活に生きる美意識（伝統工芸・和菓子など） 仏像・障壁画 水墨画						
9月							
10月							
11月	江戸時代の絵画 浮世絵 日本と西洋の交流 印象派						
12月							
1月							
2月							
3月							

教科 科目	保健体育 体育	学 年	2年	単 位	2単位	担 当	潮 下 竜 二
【科目の概要】							
心と体を一体としてとらえ、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、自己の能力に適した課題を持って取り組む姿勢を養う。また、チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようにする。							
【育成をめざす学力】							
◇互いに協力して自己の役割を自覚し、チームの課題や自己の能力に適した解決を目指し、勝敗に対して、公正な態度が取れるようにする。							
【評価基準・評価項目】							
<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じて、運動の技術を高め、競技したり、記録を高めたりすることができる。 ・社会におけるスポーツの意義の必要性や運動の学び方について理解できる。 							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4・5月	1 体育実技の受け方のオリエンテーション・安全教育 2 集団行動・体育祭の練習						
6月	3 剣道 ①オリエンテーション（剣道の歴史・用具の説明・マナーと安全） ②礼法・構え方と素振り ③攻撃の基本技術（面打ち・小手打ち・胴打ち） ④刀による剣道基本技稽古法（基本1～9）						
7月	⑥ 段審査・評価						
8月	4 バドミントン						
9月	①オリエンテーション・安全教育②クリアー③サーブ						
10月	④スマッシュ⑤評価⑥ゲーム						
11月							
12月	5 サッカー（フットサル） ①オリエンテーション・安全教育②パス ③ドリブル						
1月	④シュート						
2月	⑤評価・ゲーム						
3月							

教科 科目	保健体育 保健	学年	2年	単 位	1単位	担 当	浦元久美子
【科目の概要】 体育理論の学習を通して、自分の能力に合った運動の課題解決を見つけ、仲間とともに教え合い、助け合うことによって、ほんとうの運動の楽しさや喜びを体験できることを教える。 健康に関する体の働き、環境、社会のしくみなどを考えることによって、健康や安全についての管理能力や探究心を養う。							
【育成をめざす学力】 ○運動をみずから進んで計画し、実践していく能力。 ○心身の健康の保持増進にかかわる実践力。 ○健康・安全管理能力。							
【評価基準・評価項目】 ・健康の大切さや体の発育、発達などの基礎的な事項が理解できる。 ・心の健康に関する課題が理解できる。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4・5月	1. 保健の受け方についてオリエンテーション 2. 感染症について						
6月	3. 心身の発達と心の健康 ①体の発育・発達 ②吸・循環機能の発達						
7月	③機能の成熟						
8月	④とどう向き合うか						
9月	⑤人とのかかわりと自分らしさ						
10月	⑥欲求やストレスへの対処						
11月	4. 医薬品について						
12月	5. 薬物乱用						
1・2月	6. 健康と環境 ①環境の変化への体の適応 ②快適で能率のよい環境③衛生的な飲料水の供給 ④空気の汚染と換気⑤し尿とごみの処理 ⑤たちの生活と環境問題						
3月	7. まとめ						

教科 科目	技術・家庭2	学 年	2年	単 位	2単位	担 当	松本 智恵
<p>【科目の概要】 技術・家庭科では、よりよい生活をしていくために、生活に必要な知識や技術を理解し、実際の生活の中でいろいろな課題を解決する方法を学びます。生活するためには、知っているだけでなく、実際に手や体を動かして体験することが必要です。そのために実習を行い、その過程で生活を工夫し、創造する能力やものをつくる技術を習得します。また、生活の基盤である家庭の役割や、家族や周囲の人々の支え合いの大切さについて学び、周囲の人々との豊かなかかわり方を工夫したり、自分のくらしと環境のかかわりについて考えたりして、実践する力を養います。これらの学習を通して生活の自立と共生のための基礎的な考え方や知識・技術を身につけ、生活を工夫し、創造することが教科の目標です。</p>							
<p>【育成をめざす学力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を収集し、活用する力 ・課題に対して様々な角度から考える力 ・自分の考えをまとめる力 ・生活をよりよいものに改善していこうとする意欲や創意工夫する力 ・生活の自立と共生のために必要な力 							
<p>【評価基準・評価項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材加工、食生活についての基本的知識・技術を習得できている。 ・説明を聞き、指示された内容を理解して実習を行うことができる。 ・安全に配慮し、グループのメンバーと協力して作業することができる。 ・学習内容に関するスクラップブックを作成し、その内容を要約して発表することができる。 ・必要な情報を収集し、自分の考えをまとめて発表することができる。 							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4月～ 7月	<p>「材料と加工に関する技術」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 材料と加工法 <ul style="list-style-type: none"> (1)材料と加工に関する技術について (2)材料の特徴 (3)製作品を丈夫にする工夫を知ろう 2. 製作品の設計・製作 <ul style="list-style-type: none"> (1)生活に役立つ製作品を構想しよう (2)製作品の構想をまとめよう～製図 (3)作業手順を考えて製作しよう (4)完成した製作品を評価しよう 3. 材料と加工に関する技術の評価・活用 <ul style="list-style-type: none"> (1)材料と加工に関する技術を未来に生かそう 						
8月～ 12月	<p>「わたしたちの食生活」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 食生活と栄養 <ul style="list-style-type: none"> (1)食事の役割・食生活の課題を考えよう (2)栄養素の種類と働きを知ろう (3)中学生に必要な栄養 2. 献立作りと食品の選択 <ul style="list-style-type: none"> (1)食品に含まれる栄養素を調べよう (2)何をどのくらい食べればよいか考えよう (3)バランスの良い食事について (4)生鮮食品と加工食品の特徴 (5)食品の選択と購入について (6)食品の保存と食中毒の防止について考えよう 						
1月～ 3月	<ol style="list-style-type: none"> 3. 調理と食文化 <ul style="list-style-type: none"> (1)日常食の調理をしよう (2)肉・魚・野菜の調理の工夫をしよう (3)地域の食材を生かした調理をしよう (4)よりよい食生活を目指して 						

教科 科目	英語2	学年	2年	単 位	5.5 単位	担 当	野田・山口 クリス・オサリバン
【科目の概要】 英語は今や世界の共通語となっています。英語が使えるようになることで、皆さんの世界が広がっていくことはまちがいありません。英語の学習を通して、世界に目を向け、様々な国の文化や思想の違いについて理解を深めると共に、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、実践的コミュニケーション能力の基礎を養います。5.5 単位のうち、2 単位をオーラルコミュニケーションの授業とし、ネイティブ教師と日本人教師が指導するクラスで、英語を聞いて即座に英語で答えることのできる力を養っていきます。3.5 単位は教科書、問題集を活用し、語彙力、文法力をつけながら、英語で話したり、書いたりする活動を行います。							
【育成をめざす学力】 Reading 速くそして正確に英文の内容を読み取る力 Listening 目的をもって展開を予測しながら聴き、内容を把握する力 Speaking / Writing 身近な話題について自ら考え、積極的に英語で表現する力							
【評価基準・評価項目】 Speaking ：英語での簡単な受け答えができる。自分のことや日本のことを簡単に英語で話すことができる。 Writing ：自分のことや日本のことについて、50 語程度の英文で自分の考えや意見を書くことができる。 Reading ：短い英文を読み、理解することができる。 Listening ：簡単なまとまりのある英語を正しく聞き取ることができる。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4月	オリエンテーション・1年の復習・不規則動詞の過去形						
5月	Program 1 未来表現 (be going to / will) 接続詞 (when / if) Program 2 接続詞 (that) 助動詞 (must / have to) Immediate Conversation						
6月	Program 3 不定詞・動名詞						
7月	Program 4 比較 (同格・比較級・最上級) Reading 1						
8月	Program 5 疑問詞+to-不定詞, (look / get / become +形容詞) 第4文型						
9月	Program 6 受動態						
10月	OUR PROJECT・Reading 2						
11月	Program 7 現在完了① Skit						
12月	Program 8 現在完了② 現在完了進行形						
1月	Reading 3 2 学年までの総復習						
2月	3年の教科書 Program 1 (ask + 人 + to-不定詞 / It is (~for) to-不定詞)						
3月	3年の教科書 Program 2 第5文型						

教科 科目	聖書	学 年	2年	単 位	1単位	担 当	佐藤 清一
【科目の概要】 1年次に「キリスト教入門」として学んだ旧約聖書の理解をさらに深め、聖書の人間理解や神と人間との関係について学ぶことを目指す。一年間で旧約聖書全体を学ぶ。							
【育成をめざす学力】 A. 聖書と教会を理解するための知識を習得し、整理する力。 B. 知識を活用（分類・分析）して聖書や教会を解釈する力。 C. 知識を活用（分類・分析）して自分自身の将来像を展望する力。							
【評価基準・評価項目】 ・キリスト教における旧約聖書の位置付けを理解できる。 ・旧約聖書に書かれている内容と自分の置かれている現実とを関連付けて考えることができる。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4月	旧約聖書の学びへの導入 創世記（天地創造、アダムとエバ）						
5月	創世記（大洪水とノアの箱舟、バベルの塔、アブラハム）						
6月	創世記（ヤコブ、ヨセフ）						
7月	出エジプト記（モーセ、出エジプト）						
8月	出エジプト記（葦の海を渡る）						
9月	出エジプト記（シナイ山の契約、十戒）						
10月	出エジプト記（荒れ野の放浪）～ヨシュア記～士師記～サムエル記						
11月	サムエル記～列王記（ダビデ、ソロモン）						
12月	列王記・預言書（王国の分裂、滅亡と預言者）						
1月	預言書・エズラ・ネヘミヤ（捕囚期）、ヨブ記、詩編						
2月	箴言、コヘレトの言葉、雅歌、ルツ記、エステル記、ダニエル書、ヨナ書、哀歌						
3月	まとめ						

教科 科目	インテグレーション2	学 年	2年	単 位	1単位	担 当	2学年教師
【科目の概要】 Integration は“統合”を意味し、異なる教科の担当教師が協働で学年目標に沿った授業計画を作成して行う本校独自の設定教科です。2年次では職場体験学習を行います。将来自分が目指していく職業について、さまざまな視点からの調べ学習を行い数回の職場体験をきっかけにしながら、「仕事と自分」という大きなテーマについて考えを深めていきます。世界各国の現状にも目を向けながら、女性が働きやすい社会について考える契機とし、視野を広げていこうとする姿勢を養うことを目指します。							
【育成をめざす学力】 <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットや文献などから必要な情報を収集し、内容を理解する力 ・調べた内容をまとめ、表現・発表できる力 ・相手の意見や考えを聴き、客観的に判断できる力 ・自分の考えを筋道を立てて表現できる力 ・日本や世界についての理解を深め、視野を広げていこうとする姿勢 							
【評価基準・評価項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を収集し、それを整理、理解することができる ・課題解決に向けて、協力して話し合い、考えを深めることができる ・他者の考えを聞き取り、客観的に判断し、評価することができる。 ・必要な情報を的確に伝えるレポートを作成することができる。 ・調べた内容を筋道をたててまとめ、発表することができる。 							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4月							
5月	オリエンテーション 職業についての調べ学習（進路サポートブックなど）						
6月	読解力・語彙力向上プログラム（コラム学習他）						
7月	職業についての調べ学習（進路サポートブックなど）						
8月	読解力・語彙力向上プログラム（コラム学習他）						
9月	自分が目指している（興味関心のある）職業についての調べ学習・レポート作成						
10月	読解力・語彙力向上プログラム（コラム学習他）						
11月	福祉についての学習						
12月	プレゼンテーション準備① ★テーマ「仕事と私 ～調べ学習で学んだこと～」 リビングトーク						
1月	プレゼンテーション発表会&相互評価 ★テーマ「仕事と私～調べ学習で学んだこと～」						
2月	校内英語スキットコンテスト準備						
3月	校内英語スキットコンテスト・西南イングリッシュデイ（セカンドプログラム）準備						